

新着任の先生

2022.04.08 発行

3年7組 担任です。川西明峰高校から転勤して参りました。今年度から夢野台高校 75 回生の学年団に入れていただき、とても嬉しく思っています。教科は地歴（世界史B）を、部活は美術部とアーチェリー部を担当します。3年生は高校生活の締めくくりであるとともに、卒業後の進路を決定しなければならない、皆さんにとってはずっしりと重たい一年かもしれません。その重みを共に担えるよう、一生懸命頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いたします。

感染症は世界を変える

2年5組担任

天然痘

「天延二年、もがさ(天然痘)おこりたるにわづらひて、前少将はあしたに失せ、後少将はゆふべにかくれたまひしぞかし。一日がうちに二人の子を失ひたまへりし母北の方のおん心地はいかなりけむ、いとこそ悲しう承はりしか。」と平安時代後期の歴史物語である『大鏡』に描かれてる。

天然痘はインドが起源だとみられており、中国の絹を西方(ヨーロッパ)に運んだシルクロードによる商人の盛んな交易に伴い東西に波及した。日本には大陸の文物とともに天然痘が持ち込まれた。735年から738年にかけては西日本から畿内にかけて大流行し、平城京では政権を担当していた藤原四兄弟が相次いで死去した。聖武天皇は仏教の力で社会不安を乗り越えようと、東大寺に大仏を造営し、遷都も繰り返した。

1960年代にWHO(世界保健機関)は、天然痘患者を見つけ出して患者周辺に種痘を行う「封じ込め作戦」を展開して、顕著な効果をあげた。そして、1980年に天然痘の「世界根絶宣言」を行った。天然痘は、これまでに人類が根絶することができた唯一の感染症となっている。

ペスト

感染者の全身の皮膚が内出血によって紫黒色になることから「黒死病」と呼ばれたペストは古来複数回のパンデミック(世界的大流行)が記録されている。特に14世紀に起きた大流行では、全世界で1億人が死んだと推計されており、当時の世界人口を4億5000万人から3億5000万人にまで減少させた。この時のペストは中国周辺で発生したと考えられており、チンギス・カンが創設した遊牧国家であるモンゴル帝国が西方に遠征しヨーロッパの一部にまで版図を広げると、ペストはヨーロッパに広まった。

ヨーロッパで猛威をふるったペストは、放置すると肺炎などの合併症によりほぼ100%の人が死亡し、英国やイタリアでは人口の8割が死亡し、全滅状態となった街や村もあった。また、「ユダヤ人たちが世界に毒をまいているのだと考え、数多くのユダヤ人が殺される」事件が多発した。(今回の新型コロナウイルス感染拡大に関しても、世界的にはアジア人差別が発生している。ウイルスは人種や国籍を区別しない。だが人は未知の病への恐怖心ゆえに、わかりやすい差別を用いて他者を排斥したり、あるいは流言飛語に振り回されたりする事件が起きている。)

ペストの大流行による人口の激減は、生き残った農民の待遇を改善し、農奴解放を進めることとなった。そして、キリスト教の神中心の世界観と封建社会の中世から、人間性の自由・解放を求め、ヒューマニズムと個性を尊重する近代社会の原理を生み出すこととなった。

ペストは新千円札肖像となる北里柴三郎などによって原因菌が突き止められ、感染防止対策がなされ流行は減った。しかし、今でもペストの感染は断続的に起きている。2004年から2015年で56,734名が感染し、死者は4,651名(死亡率8.2%)である。

スペイン風邪

スペイン風邪とは、1918(大正 7)年から 1919 年にかけて全世界的に猛威を振るった H1N1 亜型インフルエンザの通称である。流行源は不明である。感染情報の初出がスペインであったため、この名で呼ばれる。しかし、実際は 1918 年 3 月にアメリカのデトロイトやサウスカロライナ州付近などで最初の流行があり、第一次世界大戦(1914 年～1918 年)でのアメリカ軍のヨーロッパ進軍と共に大西洋を渡り、ヨーロッパで流行した。

感染者は約 5 億人以上、死者は 5,000 万人から 1 億人に及び、当時の世界人口は 18～20 億人であると推定されているため、全人類の 3 割近くが感染したパンデミック(世界的流行)である。スペイン風邪の大流行により多くの死者が出て、徴兵できる成人男性が減ったため、第一次世界大戦の終結が早まったといわれている。

日本では 1918 年秋から本格的に流行し、国内 45 万人、台湾、朝鮮半島などの外地 29 万人合計 74 万人の日本人が死亡したと推測されている。) 神戸では、夢野火葬場(長田区)、春日野火葬場(中央区)に、それぞれ多数の死体が運ばれたため、処理能力を超えてしまい、棺桶のままに放置されていたという。インフルエンザは猖獗(しょうけつ)を極め、小学校、中等学校等などが全面休校を行った。

当時の政府、自治体は傍観したわけではなくマスクの使用や手洗い・うがいの励行、人込みを避けるなど繰り返して呼びかけた。しかし、各種興業や集会の閉鎖は積極的には行われず、大人数での飲酒、会食は感染する可能性が高いにもかかわらず、何の規制もしなかった。このために罹患者が増大した。「最悪に備えよ。」「悲観的に準備せよ。」が危機管理の要諦だ。この観点が大正デモクラシーのもと原敬内閣に欠けていたのは確かである。

新型コロナウイルスはどのように世界を変えるか。

歴史上感染症は人やモノの移動に伴って波及してきた。グローバル化が格段に進んだ今、WHO(世界保健機関)が 2020 年 2 月 11 日に COVID-19(コビッド・ナインティーン)と命名した新型コロナウイルスの広がり、従来の感染症に比べて圧倒的に速い。そして、新型コロナウイルス拡大は中国に重点が移りかけていた全世界のサプライチェーン(供給連鎖)にブレーキをかける結果を招いた。新型コロナウイルスの感染源である中国の生産停止によって製品、部品が調達できない状況となった。このことから世界の工場と呼ばれている中国への一極集中を他国に移す多極化・分散化を多くの企業は模索中である。世界の産業地図が大きく変わるかもしれない。

また、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、在宅勤務を含むテレワークが広まっている。総務省によると、テレワークとは「ICT(information and communications technology: 情報通信技術)を活用した時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方」であり、在宅勤務、サテライトオフィス勤務、モバイルワークに区分することができるという。

新型コロナウイルスに対する対策として、在宅勤務日数を増やす企業も増えており、会社のオフィスに出勤せず、自宅やレンタルオフィスなど、会社から離れた場所で業務を遂行する企業も増加している。

教育では ICT を用いたオンライン授業を世界各国は導入し、普及を図っている。日本でも、当初は遅れてはいたが、パソコン・タブレット・スマートフォンを使う授業が普及している。

医療現場では ICT 医療によるオンライン診療の拡充が医療崩壊を避ける方策として、広まっている。

そして、各分野の国際会議も Web 会議で行われることが多くなった。ウクライナのゼレンスキー大統領は 2022 年 3 月 23 日、日本の国会でのオンライン演説に臨んだ。ゼレンスキー大統領は、ロシア軍の侵攻を「残忍な侵略の津波」と表現。侵攻を止めるために日本とアジア諸国の一致団結を呼びかけた。

このように新型コロナウイルスの感染拡大は、我々の働き方、学び方、生き方を大きく変えようとしている。ただ今、本当に必要なことは人類の叡智を結集して、新型コロナウイルスを収束させることだ。このために世界は団結すべきなのに戦争を行っている国があり、それを止められない我々がいる。これは、なぜなのかを考えてほしい。参考文献『感染症の世界史』石 弘之 著 角川ソフィア文庫『ペスト大流行』村上 洋一郎 著 岩波新書『日本を襲ったスペイン・インフルエンザ』速水 融 著 藤原書店

行事予定 行事予定 4月8日(金)始業式 11日(月)課題考査 英語・数学(理系・文Ⅱ)文Ⅰ自習 12日(火)課題考査 国語・物理/生物(理系)・化学(理系)・授業文系2限より 15日(金)身体測定・一斉委員会 21日(木)定期戦